

安曇野から

小松農園のりんご



秋の実りを想像して

小松 匡位
三剛

「食品公害を追放し安全な食べ物を求める会」の皆様には、大変お世話になっております。
私どものりんご園がある梓川地域は、10年前に行政合併で松本市になりましたが、農産地としては『安曇野』と呼ばれる地域に入ります。安曇野は雨が少なく、日照時間が長く、一日の気温の寒暖の差が大きく、特に夜の気温がグッと下がるので果実が引き締まり色つきが良く、りんご栽培において最高の環境と言われている地域です。



今年は開花が例年よりも4、5日早く、多くの花が咲き生育は順調です。

台風6号通過の翌日に強風が吹き、果実にスソ傷や打撲が出ましたが、摘果作業で対応できるくらいなので良かったです。8、9、10月に台風が来ないようにと祈っております。

安心・安全は基より有機質（豚堆肥、もみ殻、鶏糞灰など）による土づくり、農薬は厳選して極力省き木の観察をしています。除草剤を使わずすべて機械で草刈りをしております。草は月に二回伸びたら刈り、刈った草は有機物として畑に還元、木の下に敷いています。葉摘みはなるべく遅く、取り過ぎず行っています。これにより葉の光合成による栄養分が果実に蓄えられるため、より一層味が濃厚になります。

7月31日現在の作業内容は、朝夕は草刈り、日中は見直し摘果です。

炎天下の中での作業は厳しい時もありますが、秋の実りを想像して日々農作業に励んでおります。

